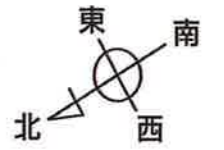


# 有馬温泉癒しの森

<Healing forest of Arima>



日本三古泉に数えられる有馬温泉。温泉街から少し歩くだけで豊かな自然と触れ合えます。

周辺の山々は、多様な植物や生き物が見られる自然の宝庫といえます。アリマウマノスズクサ・アリマグミなどアリマの名がつく植物やコバノミツバツツジ・ヤマアジサイなどきれいな花を咲かせる植物もあちこちに見られます。

この豊かな自然を、より親しんでいただくため、この辺り一帯を「有馬温泉癒しの森」と名づけ、森の散策や、様々な野鳥や草花と出会うことで、心が安らぎ、癒しの効果を得ることができるよう遊歩道や休憩所などの整備を行いました。

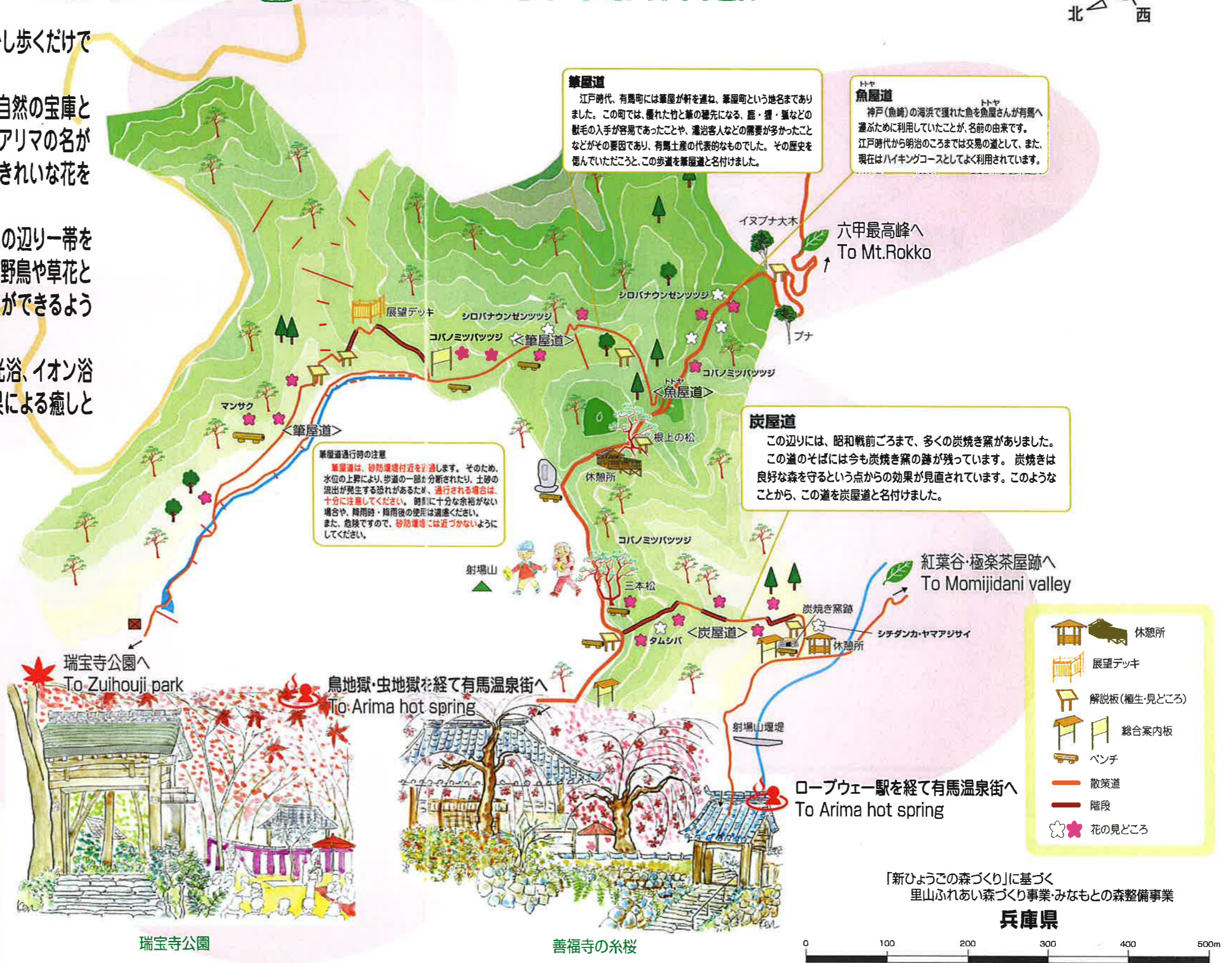
名湯の温泉浴とともにこの森での、森林浴、日光浴、イオン浴などをお楽しみください。また、ウォーキング効果による癒しと健康をあなたのものとしてください。



## 有馬温泉癒しの森周辺のみどころ

有馬四十八滝  
<48 waterfalls in Arima>

有馬温泉癒しの森周辺では、七曲滝や百間滝をはじめ、「有馬四十八滝」と呼ばれる数々の滝が見られます。特に冬に見られる「氷瀑」は見事で、ツララ状の氷が岩盤を覆い、非常に美しい風景です。近年は、滝が凍ることが少なくなりましたが、年に数度は見ることができます。時間のある方は、足を運ばれてはいかがでしょうか？



**筆屋道**  
江戸時代、有馬町には筆屋が軒を連ね、筆屋町という地名までありました。この町では、優れた竹と筆の産地になる、鹿・狸・狐などの獣毛の入手が容易であったことや、湯治客人などの需要が多かったことなどがその要因であり、有馬土産の代表的なものでした。その歴史を偲んでいただくこと、この歩道を筆屋道と名付けました。

**魚屋道**  
神戸(魚崎)の海浜で獲れた魚を魚屋さんが有馬へ運ぶために利用していたことが、名前の由来です。江戸時代から明治のころまでは交易の道として、また現在はハイキングコースとしてよく利用されています。

**炭屋道**  
この辺りには、昭和戦前ごろまで、多くの炭焼き窯がありました。この道のそばには今も炭焼き窯の跡が残っています。炭焼きは良好な森を守るという点からの効果が見直されています。このことから、この道を炭屋道と名付けました。

**筆屋道通行時の注意**  
筆屋道は、砂防堰堤付近を通過します。そのため、水位の上昇により、歩道の一部が分断されたり、土砂の流出が発生する恐れがあるため、通行される場合は、十分に注意してください。事前に十分な余裕がない場合や、降雨時・降雨後の使用は遠慮ください。また、危険ですので、砂防堰堤には近づかないようにしてください。



瑞宝寺公園



善福寺の糸桜

「新ひょうごの森づくり」に基づく  
里山ふれあい森づくり事業・みなもの森整備事業

兵庫県

